

## カワウ生息状況モニタリング調査方法

## 1 目的

広島県内のカワウの個体数とその変化を把握するため。

## 2 調査箇所

予備調査によって集まったねぐら・コロニーの情報を以下の4つにランク分けして調査を実施する。

ランク	区分	目安	調査対象	想定される箇所数
A	重点調査箇所	全てのコロニー及び成鳥の最大個体数が概ね100羽以上のねぐら	必須調査箇所。継続的に必ずカウント調査を行う地点とし、マニュアルに沿った調査方法で実施する。	10～20箇所程度
B	継続監視箇所	成鳥の最大個体数が概ね10～100羽程度のねぐら	必須調査箇所。開始時間は日没30分前からにしてよい。	30箇所程度
C	注意監視箇所	成鳥の最大個体数が概ね10羽以下のねぐら、又は過去にねぐら・コロニーがあったが現在は消滅した箇所	カウント調査の対象地点にはしないが、引き続き情報収集に努め、個体数の増加等が見られる場合はB以上にランクアップする。	
D	(調査対象外)	ねぐら・コロニーではない、又はその可能性が極めて低い箇所	調査対象地点にはしない。ただし、ねぐら・コロニーの発生が認められた場合はC以上にランクアップする。	

※ランク分けについては、カウント調査等の結果を踏まえ、野鳥の会の意見等を聞きながら、随時、自然環境課が見直しを行う。

## 3 方法

原則として「カワウ生息状況調査マニュアル―ねぐら・コロニー編―」に基づいて実施する。

ただし、調査箇所の環境によって以下のとおり調査方法を使い分ける。

分類	調査箇所の環境	調査方法	調査上の注意	調査結果の取扱い	調査主体
I	河川、湖沼、陸上から観察が可能な島・海岸、等	マニュアルに基づいた方法により実施する。			野鳥の会県支部
II	陸上からの観察が不可能な島・海岸	日中、船上よりカウントする。夕方の出入り等をカウントする全個体カウントは不可能なので、日中に確認できた個体のみをカウントする。	1回の出航で複数箇所のカウントを実施する。	Iの方法とは単純に比較できないが、過小評価している可能性が大であることを踏まえて取り扱う。	県自然環境課（野鳥の会県支部が支援する）
III	上記以外の場所（いずれの場所からもカウントが不可能な場所）	当面は調査対象箇所とはしない。	—	—	—

○調査Ⅰ〔陸上調査〕

	ランク A	ランク B	ランク C
時期	7月, 12月, 5月に各1回 調査基準期間を2週間程度設定し, 少なくとも1か月以内に調査を完了させる。 調査基準期間 7月: 中下旬, 12月: 中旬, 5月: 上旬		現地調査はしない。 (年1回の情報収集で状況を把握)
時間	日没2時間半前～日没後20分	日没30分前～日没後20分	—
体制	1調査地点につき2名程度	1調査地点につき1～2名程度	—
方法	ねぐら・コロニーに既にいる個体数, 出入りした個体数を, 成長と若鳥を分けて記録。コロニーの場合は巣数も。繁殖期には, 繁殖ペア数(巣数), ヒナ数(可能であれば)もカウントする。 その他, 詳細はマニュアルによる。	調査方法はランク A と同じ。	—

○調査Ⅱ〔船上調査〕

	峠島, 宮島(平根), 引島 (ランク A に相当)	阿多田島, 情島(ランク B に相当 時期によってはランク A に相当するため, 状況に応じてランク A に準じて調査する)	その他(ランク C 相当)
時期	7月, 12月, 5月に各1回 調査基準期間を2週間程度設定し, 少なくとも1か月以内に調査を完了させる。 調査基準期間 7月: 中下旬, 12月: 中旬, 5月: 上旬		現地調査はしない。 (年1回の情報収集で状況を把握)
時間	日没2時間半前～日没後20分	日没30分前～日没時	—
体制	県が実施, 野鳥の会が支援(委託を含む)。	県が実施, 野鳥の会が支援(委託を含む)。	—
方法	大きなねぐらであることから, 陸上調査と同様の調査を実施する。 ねぐら・コロニーに既にいる個体数, 出入りした個体数を, 成長と若鳥を分けて記録。コロニーの場合は巣数も。繁殖期には, 繁殖ペア数(巣数), ヒナ数(可能であれば)もカウントする。 その他, 詳細はマニュアルによる。	ねぐら・コロニーに既にいる個体数, 出入りした個体数を, 成長と若鳥を分けて記録。コロニーの場合は巣数も。繁殖期には, 繁殖ペア数(巣数), ヒナ数(可能であれば)もカウントする。 その他, 詳細はマニュアルに準ずる。	新たにねぐら等が確認された場合, 野鳥の会の協力を得ながら県が調査を実施する。規模に応じて先のいずれかの調査方法を選択する。

#### ○繁殖状況補足調査

5月, 7月, 12月に調査を実施する。

- ・陸上調査：野鳥の会が実施
- ・船上調査：県自然環境課が実施

#### 4 ねぐら・コロニー情報収集

モニタリング調査を実施する中で, 新しいねぐら・コロニーの情報や, 調査対象外のねぐら・コロニーの状況を随時把握し, 必要に応じてカウント調査の調査箇所を増減・変更をする。